


国際交流基金日本語国際センター
 第16回海外日本語教育研究会
 『Can-doに基づいた授業の組み立て』
 -JF日本語教育スタンダードを利用して-

あなたの授業をあなたのCan-doで

-Can-doを利用した学習目標の設定-

三原龍志
 国際交流基金日本語国際センター専任講師



本ワークショップの目的

- Can-doを使って自分の教育現場にあった学習目標を設定することができる


『利用者ガイドブック』pp18-21

本ワークショップの流れ

- JFスタンダードの活動Can-doの例をみる
- 活動Can-doの構造を理解する
- 学習目標となるMY Can-doを立てる(ワーク)

あいさつから始めましょう

- 自分が担当しているコースやクラスについて学習者の日本語の能力なども紹介してください。



学習目標・学習活動・学習成果の評価

学習目標
 MY Can-do **本日のワークショップ**

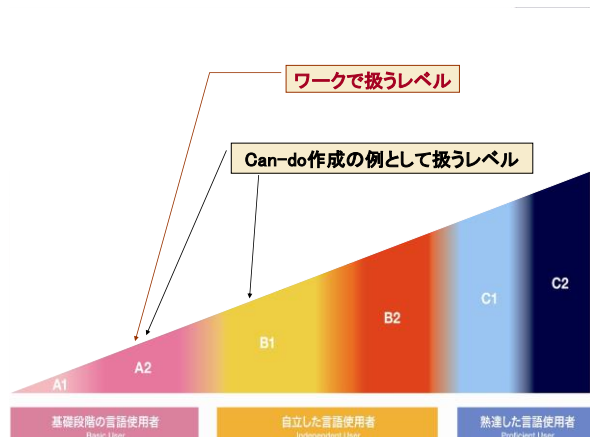
一貫性 Can-do

学習活動

- ・導入
- ・インプット
- ・アウトプット
- ・Real World task

学習成果の評価

- ・テスト、クイズ
- ・評価基準表(ルーブリック)



1. JFスタンダードの活動Can-doの例

【講演やプレゼンテーションをする】

B1

友人の結婚パーティなどで、あらかじめ準備してあれば、新郎新婦の人となりを表わすようなエピソードなどを含んだまとまりのある簡単なスピーチをすることができる。

A2

友人の結婚パーティなどで、メモをときどき見ることができれば、お祝いの言葉や新郎新婦との関係などについて、短い簡単なスピーチをすることができる。

7

2. 活動Can-doの構造を理解する①

活動 Can-do = 条件 + 話題・場面 + 対象 + 行動

B1 友人の結婚パーティなどで、あらかじめ準備してあれば、新郎新婦の人となりを表わすようなエピソードなどを含んだまとまりのある簡単なスピーチをすることができる。

A2 友人の結婚パーティなどで、メモをときどき見ることができれば、お祝いの言葉や新郎新婦との関係などについて、短い簡単なスピーチをすることができる。

『利用者ガイドブック』pp12,13 8

2. 活動Can-doの構造を理解する②

活動 Can-do = 条件 + 話題・場面 + 対象 + 行動

活動Can-doの例【講演やプレゼンテーションをする】

B1

あらかじめ準備してあれば + 友人の結婚パーティなどで + 新郎新婦の人とをりを表わすようなエピソードなどを含んだまとまりのある簡単なスピーチを + することができる

A2

メモをときどき見ることができれば + 友人の結婚パーティなどでお祝いの言葉や新郎新婦との関係などについて + 短い簡単なスピーチを + することができる

構造にもとづいて「Can-do」を理解することで、各カテゴリーとレベルの記述の特徴がとらえやすくなる

『利用者ガイドブック』pp12,13 9

3. 学習目標を立てる一ポイントー

・ 次のポイントに沿って、学習目標を立ててみましょう。

①学習者の口頭のやりとりのレベルをCEFRの6段階を参考にして特定する。

参考:『利用者ガイドブック』p70

②学習者が現実的に日本語を使用する場面やトピックを特定する。

③JFスタンダードの活動Can-doを参考に、②の場面での言語行動をCan-doで表現する。

10

3. 学習目標を立てる一例ー

①学習者の口頭のやりとりのレベルをCEFRの6段階を参考にして特定する。

参考:『利用者ガイドブック』p70

本センター研修参加者(非母語話者日本語教師)
レベル→A2、B1

11

3. 学習目標を立てる 一例①: レベルを確認するー

・ A2のやりとり: 話すこと(CEFR: 自己評価表)
単純な日常の仕事の中で、情報の直接のやり取りが必要ならば、身近な話題や活動について話し合いができる。

通常は会話を続けていくだけの理解力はないのだが、短い社交的なやり取りをすることはできる。

参考:『利用者ガイドブック』p70

12

3. 学習目標を立てる

一例①: 場面を特定する

②学習者が実社会で日本語を使用する場面やトピックを特定する。

場面: 研修参加者がパーティーなどで初対面の会話をする。

13

3. 学習目標を立てる

一例①: 談話例

A: 初めまして。
 B: 初めまして、タンと申します。ベトナムから来ました。
 A: タンさんですか。山田と申します。ボランティアで日本語を教えています。
 B: わたしは、ベトナムのハノイの日越日本語学校に教えています。
 A: そうですか。どんな人が日本語を勉強していますか。
 B: 会社員が多いで、授業、朝7時から始まります。
 A: ええっ、早いですねえ。

14

3. 学習目標を立てる

一例①: Can-doで書く

③学習目標をCan-doで書いてみる。

* 資料(JFスタンダードのやりとりの活動Can-do、A2のリスト)を参考に考えてみます。

15

3. 学習目標を立てる

一例①: JFスタンダードを参考にする

③JFスタンダードの活動Can-doを参考に、②の場面での言語行動をCan-doで表現する。

A2の場合

友人の家で、友人の家族などと基本的な挨拶をし、自分の近況などについて、短い簡単な言葉で話すことができる。

【社会的なやりとりをする】

お互いの国や地方の文化や習慣について、挨拶のしかたや食事の作法などの簡単な情報を、友人に質問したり、答えたりすることができる。

【情報交換する】

16

3. 学習目標を立てる

一例①: JFスタンダードのCan-doの構造から考える

条件	話題・場面	対象	行動
	友人の家で 開講式や歓迎パーティーなどで	友人の家族などと基本的な挨拶をし、自分の近況などについて お互いの国や地方の文化や習慣などについて挨拶のしかたや食事の作法など簡単な情報を 自分の学校や日本語の授業のようすについて	友人に質問したり答えたりすることができる 短い簡単な言葉で話すことができる 簡単な言葉で質問したり答えたりすることができる

17

3. 学習目標を立てる

一例①: MY Can-doが完成する

• 開講式や歓迎パーティーなどで自分の学校や日本語の授業のようすについて簡単な言葉で質問したり答えたりすることができる。

A2【情報交換する】

MY Can-do

18

3. 学習目標を立てる

一例②：レベルを確認するー

レベル→B1

- やりとり：話すこと(CEFR: 自己評価表)

当該言語圏の旅行中に最も起こりやすいたいていの状況に対処することができる。

例えば、家族や趣味、仕事、旅行、最近の出来事など、日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話に入ることができる。

参考：『利用者ガイドブック』p70

19

3. 学習目標を立てる

一例②：場面を特定するー

②学習者が実社会で日本語を使用する場面やトピックを特定する。

場面：研修参加者が訪問先の日本語学校などで関係者と初対面の会話をする。

20

3. 学習目標を立てる

一例②：談話例ー

A:初めまして。埼玉外国語学校の校長の田村です。よろしくお願ひします。

B:初めまして、タンと申します。ベトナムのハノイにある日越日本語学校で教えています。こちらこそよろしくお願ひします。

A:タンさんですか。この日越日本語学校では、どんな人が日本語を勉強しているんですか。

B:そうですねえ。約80%はビジネスマンですね。それから大学生です。

A:そうですね。みなさん仕事のために勉強しているんでしょうか。

B:そうですね。ベトナムでは日本語のコースがある大学はまだ少ないんです。それで卒業してから日本語を学習し始める人が多いんです。

A:そうですね。

21

3. 学習目標を立てる

一例②：Can-doで書くー

③学習目標をCan-doで書いてみる。

* 資料(JFスタンダードのやりとりの活動Can-do、B1のリスト)を参考に考えてみます。

22

3. 学習目標を立てる

一例②：JFスタンダードを参考にするー

③JFスタンダードのCan-doを参考に、②の場面での言語行動をCan-doで表現する。

B1の場合

取引先で、名刺を交換しながら、名前、所属、業務内容など、工作上必要な情報などについて、ある程度詳しく自己紹介し合うことができる。

【情報交換する】

23

3. 学習目標を立てる

一例②：JFスタンダードのCan-doの構造から考えるー

条件	話題・場面	対象	行動
	取引先で名刺を交換しながら	名前、所属、業務内容など、工作上必要な情報などについて、	ある程度詳しく自己紹介し合うことができる。
	訪問先の学校で名刺を交換しながら	自国の日本語教育のようすや学校のカリキュラムなどについて	ある程度詳しく紹介したり、質問したりすることができる。

24

3. 学習目標を立てる

—例②: MY Can-doが完成する—

- 訪問先の学校で名刺を交換しながら自国の日本語教育のようすや自分の学校のカリキュラムなどについて、ある程度詳しく紹介したり質問したりすることができる。

B1【情報交換する】

MY Can-do

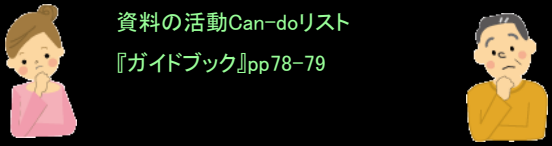
25

3. 学習目標を立てる

—やってみましょう！！—

次の手順に沿って行ってください。

参考:
資料の活動Can-doリスト
『ガイドブック』pp78-79



26

3. 学習目標を立てる

—やってみましょう！！—

(1)学習者のレベル:
A2レベル

(2)課題:
「日本人の知り合いとより親しくなる」

(3)学習者:
担当している授業の学習者

27

3. 学習目標を立てる

—やってみましょう！！—

(4)学習目標(具体的にCan-doの形式で):

①資料:A2レベルのカテゴリー

「インフォーマルな場面でやりとりをする」
「共同作業中にやりとりをする」
「情報交換する」

3. 学習目標を立てる

—やってみましょう！！—

(4)学習目標(具体的にCan-doの形式で):

②MY Can-doの作成に参考になりそうなCan-doを選んでください。

(5)「加工して使える」に選んだCan-doの中の1つをワークシートの欄に従ってMY Can-doを作成してください。

3. 学習目標を立てる

—話してみましょう！！—

記入した内容をグループ内で紹介してください。



30

4. まとめ

授業目標をMY Can-doで立てるポイント

- ①技能ごとの学習者のレベル
- ②実社会で日本語を使用する場面
- ③教育現場にあったCan-do



31

CEFR Can-doの例

【講演やプレゼンテーションをする】

C1

聴衆からの不意の発言にも対応することができる。ほとんど苦労せずに自然に反応できる。

C2

難しい、あるいは敵意すら感じられる質問に対処することができる。



32